



平成 31 年 4 月 吉日
(一社) 防衛施設学会

自衛隊駐屯地等の上下水道機能の確保等に関するガイドライン(案)を発刊!

災害時等における駐屯地等そのものの機能確保及び部隊等の円滑で効率的な活動を目的とし、災害時等においても一定水準の上下水道機能を確保するために必要な施設整備、維持管理、応急復旧の考え方等をガイドライン(案)として取りまとめました。

1. 背景

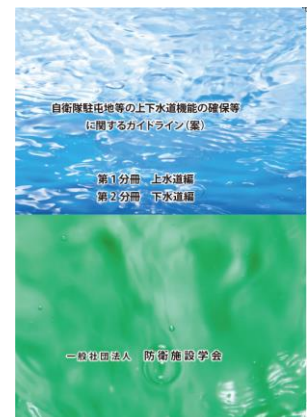
駐屯地等は、阪神淡路大震災や東日本大震災等の大災害時にその重要性が認識されたように、災害時等における部隊の活動拠点としての重要な機能を有しています。駐屯地等において、災害等により水道の断水や汚水排水経路の途絶が発生すると、たちまちのうちに衛生及び勤務環境は悪化し、隊員は劣悪な環境下で、厳しい任務の遂行を強いられることとなります。

したがって、災害時等においても一定水準の上下水道機能を確保することは、駐屯地等そのものの機能確保、部隊等の円滑で効率的な活動のために不可欠です。

この度、当学会の水関連技術部会では、「駐屯地等がいかなる状況においても機能を確保するために上下水道施設はいかにあるべきか」との原点に立ち、災害時等においても駐屯地等の上下水道機能を確保させるための施設整備や維持管理、さらには被害を受けた際の応急対処の基準的事項や指針等となるべき事項等について検討を行い、ガイドライン(案)としてとりまとめ、発刊する運びとなりました。

2. ガイドライン(案)の概要

ガイドライン(案)は2分冊で構成され、第1分冊(上水道)では、都市水道が被災して断水する事態(非常給水事態)となっても駐屯地等での部隊の諸活動に影響がでないような施設整備の方法(水源の二元化、耐震化など)や、復旧までの間の予備水源等の運用方法について、第2分冊(下水道)では、公共下水道や駐屯地等内の下水道施設(管路、処理施設)が被災した場合に備えたマンホールトイレ整備の考え方や被災しないための耐震化方策、被災時の維持管理及び応急対応方法について、それぞれ解説しています。



<お問い合わせ>

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 14 番 5 号 大井ビル 2F
電話 : 03-6273-0328 (担当: 高橋)
URL : <http://www.jsdfe.org/>
E-mail : gakkai@jsdfe.org

- 平成 31 年 3 月発行、A4 版、並製本
上水道編 87 ページ、ISBN:978-4-907956-44-8
下水道編 97 ページ、ISBN:978-4-907956-45-5
- 本体価格: 各 2,500 円 (会員価格各 2,000 円)



※一般社団法人防衛施設学会は、防衛施設技術を中心とする関連分野においてわが国で唯一の学会であり、防衛施設技術及びこれに関連する研究・調査を推進することにより防衛施設技術の振興を図り、もって学術文化の発達と国民生活の安全等に寄与することを目的としています。